

# みんなの活動だより

発行: MISHOP広報部会

2024.9  
84

## 三鷹国際交流フェスティバル、9月22日開催

### The Mitaka International Festival

「手をつなごう 世界はひとつ」をテーマに、第33回三鷹国際交流フェスティバルが22日(日)10時-16時半、井の頭恩賜公園西園・競技場、文化交流広場と野球場周辺で開催されます。

会場、出店数、多文化紹介アトラクション(WBA)などは昨年同様ですが、今回は終了時間が従来より1時間延びて16時半まで(飲食販売は16時まで)となりました。

熱中症対策としては場内にミストなどが出る機器を設置した「クールスポット」を設けます。

また昨年同様、救護所に医師が常駐します。

「撤収を翌日にしたことで時間的な余裕が生まれ、閉会時間を繰り下げることができました。

熱中症など体調に気をつけて、一日ゆっくり楽しんでください」とフェスティバル実行委員会委員長

の入り月裕樹さんは語っています。

The Mitaka International Festival will be held on Sunday, September the 22nd, from 10am to 4:30pm at Inokashira West Park and other nearby locations.



## 久住昌之さん制作の国際交流フェスティバルのポスター

今年の国際交流フェスティバルのポスター・チラシ(写真)は、三鷹市出身の漫画家、久住昌之さんが16年ぶりにイラストを手掛け、話題になっています。

久住さんは人気漫画「孤独のグルメ」の原作者として知られ、ミュージシャンやエッセイストとしても活躍されています。

MISHOPでは1990年代から11回、国際交流フェスティバルのポスター・チラシのイラストを担当していました。MISHOPカラーの濃いピンク色を背景に描かれたクジラや恐竜などを覚えている会員の方も多いことでしょう。

三鷹駅前デッキにこのポスターをあしらった告知看板を設置予定です。



いよいよ3週間後に「国際交流フェスティバル」が開催されます。実行委員会では、ボランティアを大募集中です。フェスティバルは、300人以上のボランティアによって支えられています。場内アナウンスや、場内パトロール、交通整理などのほか、撮影など様々な協力を求めています。力を貸してくださる方、9月10日19時からMISHOPで開かれるボランティア説明会にご参加ください。

The Mitaka International Festival Committee is looking for volunteers. Help is needed with various departments, including making announcements, interpreting, patrolling, traffic control, and photography. Those persons interested in applying should kindly attend the volunteer information session to be held on September 10 at 7p.m. at MISHOP.



# 「子ども教室」で七夕飾り作り

「にほんごがじょうずになりますように」「身長160cmまでのびますように」「サッカーがじょうずになりますように」

外国につながるのある三鷹市在住の小中学生に、日本語の学習を支援する「子ども教室」で7月6日、七夕まつりが行われました。日本人ボランティアが七夕の由来を紙芝居で説明した後、アジア、アフリカ、欧米出身の小中学生18人が学習中の日本語で短冊に願いごとを書いて飾り付けました。

「子ども教室」は15年前、当時増えつつあった外国につながるのある小中学生が楽しく充実した学校生活を送れるように支援しようと開講しました。当初はアジアに関係する子どもたちが中心でしたが、最近では多国籍になっていて、現在は毎週土曜日13時半からと15時からの各1時間20分、12の国と地域にかかわりのある20人が学んでいます。

支援する日本人ボランティアは大学生から社会人ら男女約30人。小中学生と1対1で組んで、日常生活を送るうえで必要な日本語の読み書きから学校の授業で使う言葉など、子どもたちの日本語能力のレベルや希望に合わせて指導しています。飽きずに学べるようみんなの前で発表する「音読」時間やゲームなども取り入れています。

ボランティアと対話しながら学習に取り組んでいた子どもたちからは「1年ぐらい前から通っています。いっぱい話できるのがいい」（小5）、「みんなで一緒に遊んだり、勉強したりするので楽しいです」（中1）、「音読の時間が楽しみ」（中3）などの感想が聞かれました。



On July 6, a Tanabata Star Festival was held at the Children's Classroom. This classroom supports elementary and junior high school students who have foreign connections and live in Mitaka City by helping them as they learn Japanese and other school subjects. Eighteen elementary and junior high school students from Asia, Africa, Europe, and the United States wrote their wishes on tanzaku strips of paper and decorated them with some of the Japanese language they are learning.

# 日本語を基本に多言語で交流する

## 「MISHOP Lounge」盛況

“MISHOP Lounge” a multilingual event based on Japanese, is thriving!

MISHOPでは毎週火曜日13時半-15時と毎週金曜日15時半-17時、簡単な日本語を基本に多言語で交流を楽しむ「MISHOP Lounge」が開かれています。毎回、多国籍の外国籍市民と日本人ボランティアが20人前後参加して、食べ物や旅行、日常生活などの話題でも盛り上がっています。



昨年初春、コロナの流行が落ち着いた頃「MISHOP Lounge」が始まりました。最近ではアジア圏だけでなくアフリカやヨーロッパなど多国籍の外国人の参加が目立っています。

ある日のLoungeには英国、米国、中国、オーストラリアからの外国籍市民6人と、高校生から高齢者まで日本人ボランティア13人が参加しました。4つの班に分かれ、ある班では英国人男性が好きな野菜としてゴボウを挙げたことから、料理に話題が広がっていきました。別の班では中国人女性が「お勧めの公園を教えてください」と言うと、国営昭和記念公園や新宿御苑などを挙げる声が続きました。会話は日本語が中心で、英語のできる日本人が手助けしたり、外国籍市民同士が日本語で会話したりする姿も見られました。今年3月に来日して毎週参加しているという中国人女性は「雰囲気が好きです。みなさん親切で、日本語の会話に自信が持てるようになりました」、5月に来日した留学生の中国人男性は「日本語会話の練習になるので参加しています」、日本人ボランティアの女性は「いろいろな方と話せるので楽しいです」と話していました。

Every Tuesday from 1:30pm to 3:00pm and every Friday from 3:30pm to 5:00pm, the "MISHOP Lounge" is held at MISHOP to enjoy talking in various languages—though basically in simple Japanese. Each time, about 20 foreign residents of various nationalities and Japanese volunteers participate in the event and have fun talking about topics such as food, travel, daily life, and more.